

第658回福崎町教育委員会会議録

開催日時 令和5年12月22日（金） 9時30分～11時50分

開催場所 福崎町役場 3階 第2委員会室

出席委員 高橋 渉、桑谷祐顕、井奥智子、中田貴子、西村照明

事務局 学校教育課長 大塚謙一、社会教育課長 木ノ本雅佳

1、開会

2、第657回議事の報告を会議録により行い、承認されました。本会の署名委員として桑谷委員・中田委員を指名しました。

3、教育長報告

(1) 園・小・中学校

八千種幼稚園は、インフルエンザが流行し感染している園児が多くいます。音楽会では、園児一人に何人もの家族、関係者が来られ非常に良い会になりました。田原幼稚園は、インフルエンザに加え、アデノウイルス、おう吐が流行しました。ヘルペスでも医師から登園停止の指示がなかったため園児を登園させたという保護者がおられました。姫学こども園は、インフルエンザ、コロナ、気管支炎で欠席園児がいますが、流行はしていません。サルビアこども園は、インフルエンザ、アデノウイルスがありました。福崎小学校の音楽会を参観し、感動する園児が多くいたと報告がありました。福崎幼稚園は、インフルエンザ、アデノウイルス、コロナでの欠席が非常に多かったです。高岡幼稚園は、インフルエンザ、アデノウイルスが多かったです。また、音楽会には園児全員が出席できました。ただ、学年によっては園児が3人や6人の少人数のクラスがあり、余りに多くの見学者の視線に耐えられずに泣き出す園児がいたと報告がありました。今後、運動会を含め、音楽会の持ち方を工夫する時期だと思っています。園長会では、給食の検食について毎回意見交換を行い、課題等を検討しています。また、避難訓練と不審者対応の訓練は別々に行うことが望ましいという研修を受けてきた保育士がいたと報告を受けました。

小学校では、11月20日から24日に自然学校があり、5年生171名の内、インフルエンザ1名、発熱2名の計3名が欠席で出発しました。インフルエンザで出席停止となった1名が全欠、発熱のため早退した3名は、熱が下がって再び参加する等対応はばらばらでした。また、夜の宿泊ができず宿泊のみ不参加の児童もいました。最終日の閉校式は、福崎小学校の1名が発熱で不参加でしたが、ほか全員出席できました。インフルエンザによる学級学年閉鎖は、田原小学校1年2組が12月15日から18日、2年3組が12月14日から16日、福崎西中学校3年生の学年閉鎖が12月12日・13日にありました。

福崎小学校は、町内のレストランの壁を壊すいたずらがあり指導しました。また、山崎区の旧小國家住宅の土塀の落書きについて現在指導中です。友達同士のトラブルがあり、保護者を交えて指導しています。自然学校中に捻挫がありましたが、児童、教職員とも健康状態は良好でした。高岡小学校は、コロナ、アデノウイルスに児童1名が感染しました。その他は特に問題行動等の報告はありません。田原小学校は、音楽会と少年野球の大会が重なった保護者からの相談がありましたが保護者の判断に任せました。保護者の方で、今年で最後ということで野球の方を選ばれました。友達同士のトラブルがあり指導しました。11月25日の夕方に河川敷公園で、外国人風の2名から6年女子2名が声をかけられ、逃げたが追いかけられたという報告があり、警察や補導センター等関係機関に連絡しました。また、熱性けいれんのために児童の意

識が一時なくなり救急車を要請しました。その後、児童は元気に回復しています。八千種小学校は、落ちつかない学級があり、管理職を含め全教職員で見回りの指導を強化しています。集団登校中のトラブルがありました。児童、教員それぞれ1名がコロナに感染しました。体育の準備運動中に左足の剥離骨折の怪我がありました。また、欠席がちな児童に対し、リモートで1日2時間程度の学習指導をしています。

福崎西中学校は、11月19日の合唱フェスティバルは大盛況で好評でした。友達同士のトラブルが数件あり指導しています。解決していますが、経過観察中という状況です。学校内の適応教室「Mルーム」や町の適用教室「のぞみ学級」に3名が利用しています。体育の授業中と部活動中の怪我がありました。教員がテストの答案用紙を紛失したため厳しく指導しています。また、テスト中に不正行為と疑われるような行為をした生徒に対して、不適切な対応をした教員がおり厳しく指導しました。福崎東中学校は、11月7日に2年生が京都の校外学習での班別自由行動で「時間どおりに活動できた」と報告があり喜んでいきます。合唱コンクールには、地域の方が212名参観に來られました。部活動の新人戦では、女子テニス、男子テニス、柔道が県大会に進んでいます。部活動中に剥離骨折をした生徒がいました。欠席はありませんが、他校生と生徒指導上よくないつながりのある生徒の見守りを行っています。コロナに生徒4名、インフルエンザに生徒14名、教員1名が感染しました。また、西中学校と同じく答案をなくした教員が1名おり厳しく指導しています。

学童保育園の11月の様子ですが、西部は約50人の利用児童がいました。集団生活ができにくい特別な配慮を要する児童が多い現状です。勝手に飛び出してしまう児童に対して、別室で個別対応や外での作業を取り入れ対応しています。また、退職等があり指導員が不足しています。東部は、60人から80人の利用児童がいました。4月以降、怪我等で病院へ搬送された児童がおらず喜んでいきます。夕暮れが早いこともあり11月後半から外遊びを16時45分までにしました。12月から八千種小学校から来る児童のバス到着時に混乱がないよう指導しています。また、保育中に指導員が大たい骨を骨折する怪我がありました。現在リハビリ中で1月から復帰予定です。八千種学童は2人から6人の利用でトラブル等はありませんでした。12月20日から冬休み前で開園し、初日は10人の利用がありました。

(2) 検討・議論事項

①給食費の無償化について

②こども園の入園条件、及び0～2歳児の保育料の軽減について

12月議会の一般質問にあったこども園の入園条件の緩和と保育料の軽減について検討しました。国と福崎町の保育料の比較すると、所得階層区分に多少の違いはあるものの国基準に比べて福崎町は安い設定です。また、子ども・子育て支援法施行規則で定められた保育の事由の要件を外して、保育として子どもを預かっている自治体はありません。福崎町と子育ての先進地といわれている明石市との入園条件を比較すると、明石市よりも緩和された要件となっています。他と比べて福崎町の料金や条件が厳しいわけではないという意見がありました。

(高橋教育長) 保育料について高所得者が優遇されているのではないかとということも見てとれるかもしれませんが、そこに結論はないと思いますので、何か思われたことがあればお聞きしたいです。

(桑谷委員) 無償という話になれば、確かに無償の市町の方がよかったと言われるかもしれません。しかし、国と福崎町を比べると、福崎町は非常に安くなっているということが分かります。

(高橋教育長) これは私の考えになりますが、国の法律や基準、制度から逸脱すると国からの補助や給付がなくなります。例えば、加西市は0歳から2歳までの保育

料を無償化していますが、こういう場合は国の補助金は出ないので市が全て賄っています。財源が豊かであればいいのですが福崎町はそうできる財源がないので、町単独での負担は町の財政を圧迫することになります。そのため今後もこの現状を維持していきたいと思っています。桑谷委員が言われたように、無償の方が住民は喜ばれますが、それを補填するだけの町の財源がないのが現状と思っていますので、町長部局と話をしながら安くできるよう努めたいです。

(大塚学校教育課長) 保育料として定めた金額を満額払われている家庭ばかりではなく、国の規定に基づいて複数の子どもがいる世帯に対する優遇を受けられている家庭が福崎町では47.7%あります。また、兵庫県制度で一定の所得以下の方が保育料の補助を受けられる保育料軽減事業があり14.2%の方が恩恵を受けています。合せて約6割程度の方は保育料を満額払われているわけではないという実態があります。

(高橋教育長) 保育料の軽減、無償化も要望があるということでお知りおきください。

保育の要件について、「福崎町はやはり条件厳しいのではないか」というような雑感で結構ですのご意見ないでしょうか。

(桑谷委員) 数字や比較で見ると福崎町が厳しいようには思えません。子ども・子育て支援法施行規則に必ず則っているのであれば、決して何か条件が厳しいようにはこれは見えないように思います。どの点のことを言われているのでしょうか。

(大塚学校教育課長) 明確に分からない状態で要件をお答えしましたが、そういうことではないという反論はありませんでした。ただ、福崎町に待機児童はありませんが、希望された園に行けずにそのまま入園されない潜在的待機児童がおられるかもしれません。行きたい園に行けなかったという意味で要件が厳しいと言われると、保育士の数と施設面積など、町で定めたルール上で受け付けないのではなく定員一杯ということなので、他の園であれば預かれる状況があります。

(高橋教育長) 大塚課長の言うように、福崎町には待機児童と呼ばれる児童はいません。例えば高岡幼児園なら空いているけれど田原幼児園でないと絶対に行かないという場合は待機児童になりませんが、そういう方はおられると思います。定員と施設の預かり具合を見ますと、育児休業が済んだ後の1歳児クラスがやはり厳しい現状です。全ての子育て世代の保護者が、不安もなく希望する園に預けられて、安心して子育てや仕事ができる福崎町にしたいと思っていますが、現状は施設の面積や定員、保育士の人数の面などで厳しいところがあるため、誰もが納得できる客観的な選考方法を行っています。保護者の生活に関わることなので最善を尽くしたいという思いでいますので、入所条件が厳しいと言われる保護者に対しては生活状況等を聞きながら、今後も進めていきたいと思っています。

③八千種学童保育の令和6年度からの開催要望について

8月から試験的に開設し11月末で終了した八千種学童保育は、必要性を認めた長期休業中は開設することを学校を通じて周知しています。しかし、一部の保護者から平日の継続開設や、来年度の新1年生の意見も聞くべきだというご意見がありました。要望された方が実施したアンケートでは、八千種幼児園5歳児で週に必ず4、5日利用するが4人あり、今の1年生の利用が月に4人弱、今の2年生で来年4月から利用すると聞いている方が2人いるため合計10人となり、平日も開設してほしいという要望書が町長宛てに提出されました。八千種学童保育について対応を検討しました。利用人数のシミュレーションによると、新1年生の利用回数を多く見込んだ場合は10.6人で、新1年生の利用回数を少なく見込んだ場合は7.8人となり、多く見込んだ場合によろやく10人を超える状況では国県の補助金が受けられなくなる可能性が高くなります。利用者が確実に10人を超えるか分からない現状では学童の常設は難しいので

はないかという意見がありました。今後意見を基に事務局で検討します。

(高橋教育長) 来年度も少なければ利用者が10人になりません。費用の面では約480万円が必要ですが、補助があれば約300万円、10人を切って補助がなければ全額を町費で負担することになります。

(桑谷委員) 結局、シミュレーションの月によって利用人数が違ってくるのは新2年生の数なので、今の1年生が本当に利用するのかということによって、変わってくるということに尽きる気がします。今の1年生の保護者に子どもを預けようという形で広がっているなら多く見積もった方に来るかと思いますが、現状のままでいくと少なくなる可能性がある。そうすると今回の試算にあるように難しいという話になってしまうと思います。新1年生についてはほぼ人数が確定しているようですので、そうすると新2年生のところに関わってくる気がします。ちなみにこれより上の学年はどうですか。

(大塚学校教育課長) データを見ても3年生以上はあまり来られません。

(桑谷委員) そうなると人数が増える要素はあまり見込めないということですね。

(西村委員) 夏休みの実績が物語っていると思います。アンケートを採って更に具体的な数字を出していただいています。事前の開設で結果的に人数が確保できないということになって、本格的に開設してまた駄目でしたということになれば、何のための事前調査だったのかということになります。また、この人数であれば継続にもリスクがあると感じます。改めて難しさが表れていると思います。

(中田委員) 今年の1年生は多くて6人の利用でした。その保護者の人たちから学童に行こうという動きがありません。現在来ている子どもたちも週5回は利用しておらず1・2回です。前回役場が採ったアンケートでも学童ができれば利用すると回答がありましたが、いざ開設したら利用者が少なかった。来年も実際の利用者が今年と同じくらいになってしまったらどうしようもありません。今の5歳児と1年生を足したら10人を超えると言われるのは計算上はよく分かるのですが、現在それぞれに事情があり週5回利用されないのに、常時運営には無理があるのではないかと思います。学校で個人面談があったときや冬休みには利用者が増えているので、学童があつて助かっているという保護者はおられますが、アンケートを採って10人くらいになるので常設をとというのは、難しいと思われれます。ただ、学童に行かせてもらっているので継続してあつた方がいいのだらうなどはよく思うのですが。

(高橋教育長) ご意見ありがとうございました。確実に10人以上が利用するかどうか不確かだという結論だと思います。それを基に事務局の方で検討したいと思います。

(3) 教育委員会の今後の課題

資料に基づき報告しました。

(4) 1月の予定

資料に基づき報告しました。

次回の教育委員会は、1月19日(金)午前9時30分から、役場第1委員会室で開催します。

4、協議事項

- (1) 福崎町青少年野外活動センターの管理及び運営に関する規則の一部改正について
条文に誤りがあることが判明したため文言の訂正について協議し、教育委員会の賛同を得ました。

5、報告事項

〈学校教育課〉

(1) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。小中学校6校の特別教室等空調設備設置工事实施設計業務委託の進捗率は70%で図面化と工事費等の算出へ進んでいます。町立幼稚園4園の園内通信ネットワーク環境整備業務委託での進捗率は100%で完了しました。

(2) 福崎町教育委員会事務事業点検・評価報告書（令和4年度分）について

資料に基づき、決算報告書をベースに点検・評価を行い、学識経験者からの意見をまとめたことを報告しました。

〈社会教育課〉

(1) 吉識雅夫科学賞について

資料に基づき報告しました。11月30日・12月1日に審査会を実施し、吉識雅夫科学賞を決定しました。作品は24日まで図書館に展示しており、表彰式は3月3日（日）に柳田國男ふるさと賞や文化功績賞、スポーツ功績賞などと合わせて行います。

(2) 入札結果について

資料に基づき報告しました。福崎町図書館高圧受電設備改修工事は11月28日に入札を執行し、福崎電業（株）が税込み3,520,000円で落札しました。工期は令和6年3月28日までとなり、機器入替え時に停電作業が必要となりますが、作業を休館日に計画する等、利用者に迷惑をかけないように対応したいと考えています。

(3) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。福崎町第1体育館球技室床張替工事は、進捗率95%です。完成書類の提出及び完了検査を残す状況となっています。なお、フローリングの張替工事が完了し使用可能な状況となったため、12月5日（火）から第1体育館2階球技室の部分使用を開始しました。福崎町図書館高圧受電設備改修工事は、現在、機器の発注等、工事に着手する準備を進めており、進捗率は5%です。

(4) 国登録文化財「旧小國家住宅」土塀の落書きについて

資料に基づき報告しました。

(5) 今後の予定について

資料に基づき報告しました。

6、閉会

以 上

署名委員 桑 谷 祐 顕

署名委員 中 田 貴 子